

【開会挨拶】

和歌山県町村会定期総会開会挨拶

本日ここに、第95回 和歌山県町村会 定期総会を開催いたしましたところ、仁坂県知事様をはじめ、御来賓の皆様には、公務御多忙のところを御臨席を賜り厚く御礼申し上げます。

また、町村長の皆様には、御多用のなか御出席をいただき、心から感謝申し上げます。

本日、自治功労者の表彰を受けられる36名の皆様におかれましては、永年に亘りそれぞれの職務に精励され、町村自治の振興発展に大きく貢献された功績が認められたものであり、ここに深く敬意と感謝の意を表するとともに、今後一層の御活躍を御期待申し上げます。

さて、現下の町村を取り巻く環境は、地域格差の拡大が続くなか、町村財政基盤の脆弱化、介護保険や国保制度の維持運営をはじめ福祉対策経費の増大など極めて厳しい状況にあり、早急な対策を講じることが求められております。

このような状況をうけ政府においては、住民本位の地域主権を早期に確立する観点から「地域主権戦略会議」を設置し、法令による自治体への義務付け・枠付けの見直しやひも付き国庫補助金の一括交付金化などの課題について審議が進められるとともに、「地方自治の本旨」を具体化するため、地方自治法の抜本的見直しを図る地方政府基本法の制定も視野に入れた検討がされており、六月には「戦略大綱」を策定し、基本的な考え方がまとめられると聞き及んでおります。

国政の場では、こうした自治制度改革に関わる議論がされているところであり、本会といたしましては、町村が将来にわたって展望を切り開いていくため、全国町村会をはじめ関係諸団体との連携を一層深め、町村が抱え、山積する様々な課題の解決に向けて、全力を尽くして参る所存でございますので、仁坂県知事様をはじめ御来賓の皆様方におかれましては、これまで以上の御指導・御支援を賜りますようお願い申し上げます。

さて、本総会の議事といたしまして、お手許に配布のとおり、先ず始めに去る2月12日の理事会で決定されました平成20年度の決算、平成21年度の事業報告及び補正予算並びに平成22年度事業計画・予算の報告をすることとしております。

また、これらの案件の他、議案第1号の「決議」、議案第2号の「和歌山県町村会規約の一部改正」につきましても、4月6日開催の理事会において、十分審議され、それぞれ可決・認定をいただいておりますので、よろしく願いいたします。

終わりに、御参会の皆様方の御健勝と御活躍をお祈りいたしまして、開会のごあいさつとさせていただきます。

ありがとうございました。